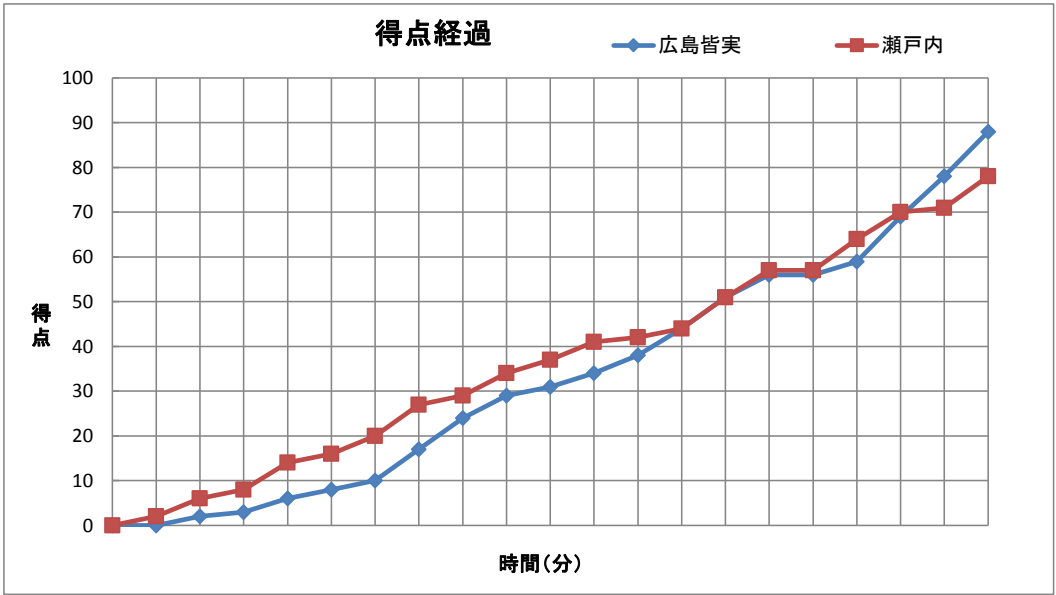




第76回広島県高等学校総合体育大会
バスケットボールの部

個人トータル表

男子														令和5年6月4日 15:30 開始			
3位決定戦														大和興産安佐北区スポーツセンター 0			
◎																	
広島皆実		88		8		1st 16		23		2nd 21		78		瀬戸内		(広島県)	
				25		3rd 20		32		4th 21							
(広島県)																(広島県)	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	小田 悠人	8	0	4	0	4	5	佐藤 雅	0	0	0	0	0				
* 5	広瀬 琉星	16	2	5	0	1	* 8	末永 渚冨	9	0	4	1	2				
6	武田 璃玖	-	-	-	-	-	* 11	濱田 典也	32	3	10	3	3				
* 7	齊藤 拓真	0	0	0	0	0	12	長山 純斗	-	-	-	-	-				
* 8	中村 英司	23	2	6	5	1	* 13	池田 翔	18	2	6	0	5				
9	大江 優貴	-	-	-	-	-	14	土橋 勇仁	-	-	-	-	-				
10	伊達 奏汰	-	-	-	-	-	* 15	渡邊 陸月	11	1	2	4	5				
11	宇川 耀友	-	-	-	-	-	* 19	坪川 喜晴	6	0	3	0	0				
* 12	石丸 陽生	18	3	3	3	0	24	内藤 誠斗	-	-	-	-	-				
13	平田 貴一	-	-	-	-	-	29	米満 慶哉	-	-	-	-	-				
14	竹本 光流	-	-	-	-	-	30	澤田 大陸	0	0	0	0	1				
15	松井 颯之輔	-	-	-	-	-	33	三上 善	-	-	-	-	-				
* 16	平田 成	23	6	1	3	3	34	三次 桜侍	2	0	1	0	0				
17	磯本 真之介	-	-	-	-	-	35	兼安 龍河	-	-	-	-	-				
18	西本 尚史	-	-	-	-	-	41	胡濱 隼征	-	-	-	-	-				
コーチ	藤井 貴康					0	コーチ	川西 英昭					0				
Aコーチ	横田 学						Aコーチ	山崎 翔太郎									
合計		88	13	19	11	9	合計		78	6	26	8	16				
主審: 皆川 義紀																	
副審: 森原 隆																	
副審: 熊本 裕一郎																	



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:38	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	18:15	:	25:59	35:18	37:53	:	:	:	:

〔戦評〕 広島皆実 #4.5.7.8.12 瀬戸内 #8.11.13.15.19
 1Q 広島皆実マンツーマン、瀬戸内 ハーフコートの2-1-2でスタート。瀬戸内8のリバウンドシュートから先制。皆実にはアウトサイドシュートが決まらず、得点が伸びない。瀬戸内はDFリバウンドからのブレイクでリードを広げる。皆実がリードを広げられたところでたまたまタイムアウト。その後はお互いミスが続き、膠着状態が続いたが、瀬戸内は11のドライブが決まり、瀬戸内8点リードで1Q終了。
 2Q 瀬戸内はゾーンディフェンス継続。瀬戸内は11のジャンプシュート、3Pで流れを掴む。皆実には12、16のアウトサイドシュートで対抗する。瀬戸内得点源の11がファウルトラブルに陥るも、お互い3ポイントシュートが入り始め、両者譲らない展開が続く。瀬戸内13が3ポイントを決めれば、皆実には12のバスケットカウントで追いつき一進一退の攻防。瀬戸内6点リードで前半を終える。
 3Q 皆実には3ポイント、リバウンドシュートで得点。瀬戸内はゾーンディフェンスからの連続ブレイクで応戦。皆実には5、16の3ポイントが決まり、残り4分で同点に追いつく。瀬戸内タイムアウト。タイムアウト後すぐさま瀬戸内15がバスケットカウントで再び、リードを奪うも、皆実も16の3ポイントで同点に。瀬戸内は11の連続得点で流れを渡さない。終了間際、皆実12が3ポイントファウルをもらい、冷静にフリースローを沈め、瀬戸内1点リードで最終Qを迎える。
 4Q 瀬戸内11の3ポイント、13のレイアップ、ジャンパーでリードを広げるも、皆実8のリバウンドシュート、12の3ポイントで得点をつなぎ、16の3ポイントでついに逆転する。さらに皆実8のペイントアタックも決まりリードを広げたところで瀬戸内がたまたまタイムアウト。タイムアウト後、瀬戸内15の3ポイント、11の得点でリードを奪い返す。勝負どころで皆実8の3ポイント、ドライブ、ゴール下など大車輪の活躍で終盤に皆実が10点のリードを奪う。瀬戸内はオールコートのプレスディフェンスやファウルゲームを仕掛けるも、皆実が落ち着いてリードを保ち、88-78で試合終了。皆実が全国大会への切符を掴んだ。前半は瀬戸内がリードを奪うも、後半はリードチェンジが繰り返される白熱した好ゲームであった。
 広島皆実には全国の舞台でも広島県代表としての力を如何なく発揮してくれることを期待する。

戦評: 記録: